

市内一斉防災訓練を振り返って

問 安心安全課 ☎56-0611 (記事ID 13774) [HPを見る](#)

長久手小学校

ながくて 長湫地区長久手小学校区 自治会連合会 たなか 田中 会長

防災訓練は予想もしない事態が起きたとき、慌てず身の安全を確保しながら避難できるよう、あらかじめ体験しておく大切な訓練です。地震が起きた際は「あわてないこと」「身の安全を確保すること」が最も大切です。時間の経過とともに防災意識が低くなっていくことは否めません。普段から近隣の人と顔見知りになり、地域の協力体制を作っておきたいと考えています。



長久手市消防団による放水訓練

西小学校

西小学校区 まちづくり協議会 よしだ 吉田 会長

数年来同じ訓練内容で、同じ事の繰り返しと思われる人もいることかと思えます。まちづくり協議会として、住民同士での災害時の情報確認、40mm消火栓を使用した初期消火等の共助ができるか、各家庭内での自助と発災後の避難生活のあり方等を話し合っただき、地域みんなで助け合える社会になるように、今後も訓練を考えたいと思います。



身体障害者福祉協会による車いす体験

東小学校

いとう 大草区 伊藤 区長

元号が令和に変わり最初の市内一斉防災訓練でした。昨年同様に大草区・北熊区・前熊区・岩作区の各区会役員の方々、そして炊き出し訓練に協力いただいた人、消防団、愛知医科大学、市役所職員の協力により、当日に各セクションをそれぞれに担当し、避難者の受入をそつなくこなすことができました。防災訓練の案内をより拡充し、参加者の拡大につながれば良いと思います。



愛知医科大学看護学部による 女性・子どもの目線で防災を考えてみよう

校区特化訓練会場

長久手ニュータウン

長久手ニュータウン まつもと 松本 さん 支え合い活動

今年の防災訓練は住民同士での安否確認、自衛隊による防災講習会を行いました。その中でさまざまな課題に気づきました。特に日頃から身近なお隣さんやお向かいさんとの声かけやお付き合い、また各自の災害に対する心構えが、「いざ」という時の判断力や行動力に繋がり、混乱を減らすことになると思います。

課題を解消するためにも継続的に訓練を行って経験を重ねる必要があると思いました。



陸上自衛隊による応急救護訓練

11月17日(日)に小学校区単位で実施した市内一斉防災訓練。その振り返りとして、各小学校の取り組みの様子を紹介するとともに、各会場責任者のみなさんのコメントを紹介します。

北小学校

長湫地区 北部自治会連合会 ほそがや 細萱 会長

災害に想定内はありません。頻発する大災害を、いつか我が身と感じつつ、多くの人に参加いただきました。みんなでシェイクアウト訓練を皮切りに、栄徳高校出題の防災クイズに頭をひねり、AEDの使い方を覚え、災害時の倒木撤去訓練、放水訓練を実施しました。また、避難行動要支援者の安否確認を行いました。日頃からの、住民同士、顔の見える関係の構築にも役立ったと感じています。



長久手市応急救護ボランティアによる心肺蘇生訓練

南小学校

南小学校区自治会連合会 なかむら 中村 会長

南小学校区では実際に発災したことを想定した訓練として、一時避難場所で黄色いタオルによる安否確認と自主防災倉庫の内容確認を行いました。特に、黄色いタオルによる安否確認訓練を重点訓練とし各16自治会で取り組みました。

その後、南小学校の体育館で愛知県立大学の世界各国の防災事情と多文化防災、避難所保育園、防災用品の展示などの訓練を実施し、参加者は互いの防災意識を高め合うことができました。



愛知県立大学による 世界各国の防災事情と多文化防災の展示

市が洞小学校

市が洞地区自治会連合会 しんや 新宅 会長

安心メールによる前日の案内メール、当日の開始メールとサイレン吹鳴が功を奏し、訓練開始がよくわかったとする意見が多く、安心メールの有用性を再認識、更なる普及に力を入れていきます。

今年は想定外の台風、豪雨が重なり、発電機の準備や家庭での備蓄品、非常持出品の展示に関心が高かったです。災害時要支援者の安否確認においては、平時からの隣近所のコミュニケーションの大切さを課題とします。



陸上自衛隊による人命救助訓練

参加団体からのコメント 子づれ備災クラブ 古賀 代表

毎月開催している「防災サロン」の報告とサロンで話題となった「避難所でのゴミ問題」「子どもの特性」に関する展示をしました。

避難所では、多世代、多様な人々が生活します。そして、避難所の運営には唯一の正解はありません。日頃から、避難所での生活、どこで避難生活を送るかなどを各家庭で考え、地域で話し合っておくことが大切です。

今回の展示が一つのきっかけになれば幸いです。